

大方球場の整備を

大々的整備は困難

／町長



こまつ たかとし 議員
小松 孝年

問 黒潮町は、野球場やサッカー場、陸上競技場、テニスコート、体育館、パークゴルフなどの施設が多くあり、その他に海、山、砂浜と、これだけ条件のそろっている地域は他にはあまりない。

地域雇用推進事業の構想の中にも、こういった施設の有効利用が挙げられているが今後どういった方法で進めていくのか計画を聞く。
また、黒潮町の所有する唯一の施設は野球場で、歴史もあり以前はプロ野球のキャン

プ地でもあったことで旧大方町民にとっては当時の賑やかさの象徴であり、寂れていくのは目に見えない心の衰退につながっている。
今までは、ほとんど放置状態であるのが現状だ。この歴史のある施設管理と設備の充実をしていくことは急務であり、キャンプ誘致のために雨天練習場は必要不可欠なものになっているが、考えを聞く。

答 下村正直 町長
山本牧夫 佐賀副町長
植田 壯 本庁総務課長
町と黒潮町雇用促進協議会が共同でスポーツ合宿や、体験型観光誘致事業について調査と研究を行い、この計画に基づいて道筋ができれば、町としても一定の予算を計上して、スポーツ合宿の誘致と施

設の充実に向けて努力したい。これらのことが地場産品の消費拡大や、地域経済への活性化につながることを期待したいと思う。
イメージアップにつながる球場の整備をするには、相当の費用が掛かることが予想される。町としても財政的に余裕があれば、この球場を大々的に整備し、賑わいを取り戻していきたいところではあるが、今後、大型事業が控えており、大々的な整備は困難である。極力できるところからやっていきたい。また、雨天練習場については、これは、誘致する上でかなりのウエイトを占め、決定的な意味を持っているということだが、どれぐらいの費用が掛かるものかもっと具体的に検討したいと思っている。



情報基盤整備について

実施設計を基に

説明していく／町長

問

今年から予算を組んで調査が始まっているが調査の結果、住民説明の予定はあるか。あとすれば、いつ頃どういう形で行うのか。

反対の声もあるが、その意見も聞き入れ、それを参考に住民の不安や不満を解決していく姿勢が大事だと思うがどう考えているか。

答

下村正直 町長

植田 壯 本庁総務課長

実施設計を基にした内容の説明が必要と考えているのでそういった内容で説明をしていきたいと考えている。

まだ確定はしていないが、最終的に実施設計ができるのが九月下旬になるのではないかと思う。従って、住民への説明は基本的にはそれ以降に

なる、それまでに、一定のサービ内容等がまとまれば、順次パンフレット等で知らせていきたいと考えている。

住民の方々からの質問、疑問点や、反対意見などは真摯（しんし）に受け止めて、それに対する説明、回答もしていきたいと考えている。

今後でもできるだけ、分かりやすい資料等々を作り理解していただけるような説明をしていきたいと考えている。



6年目田園調布大学野球部合宿